



# SSHレターズ

長崎県立大村高等学校  
～自ら気づき、考え、行動する～

1巻/53号 2022/11/15

## ◆ 第4回高校生サイエンス研究発表会 ノーベル最優秀賞(全国一位)受賞!

昨年度末、オンライン  
発表会&ポスター発表会  
の形式で開催された  
「第4回高校生サイエンス  
研究発表会2022(第一  
薬科大学主催)」の結果  
がこの程発表されました。



理科部生物班の矢頭美樹さん、  
戸島菜月さん、江田樹さんが見事に、  
ノーベル最優秀賞(全国からの発表数167中最高評価)に  
輝きました。

発表題目は『大村湾新産地におけるオキヒラシイノミガイ  
の産卵・発生過程について』で、オキヒラシイノミガイの生  
息地の気温、湿度、照度、紫外線量などの測定および成体の  
飼育・観察など、日頃から地道な活動を続けてきました。

今回の受賞は、まさにそのようなひたむきな努力を積み重  
ねた成果です。おめでとうございます!!

## ◆ SS探究II C 食品セミナー

日時: 令和4年10月14日(金) 5・6校時

対象: 2年生家政科

講師: 西九州大学健康栄養学部 安田みどり先生

内容: 前半は、ヒシの実に関するお話

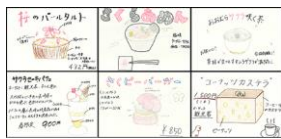
佐賀・神埼“ヒシプロジェクト・特産品「ひしほ  
うろ」の開発」、ヒシに関する科学研究の紹介等。

後半は、商品開発に関するお話

「大村市や大村高校にちなんだ新しいB級グルメ  
を考えよう!」と題し、新しい商品プランを4人  
1組で考えるワークショップ。

科学の観点からのヒシの実へのアプローチ、地域の方々  
とのつながりの構築、など、ヒシの実に対する複数の視点  
を提示していただきました。

ワークショップでは、販売  
ターゲット、価格、商品名等  
の設定まで含めて深く検討  
を重ね、6つのB級グルメ案  
が誕生しました。



SSH活動の詳細は、  
下記URLまたは2次元コードから



→ <http://www.news.ed.jp/omura-h/ssh/SSH.html>

## ◆ 大村視てあるき代替企画 ～かはくVR探究～を実施

校外の研究機関等を訪問して地元を多角的に認識する研修「大  
村視てあるき」が、今年度も感染症感染拡大防止のため実施がで  
きませんでした。そこで、昨年度に引き続き、代替企画として、  
国立科学博物館のホームページ内にあるデジタルコンテンツ「か  
はくVR」を活用した探究活動を行いました。

日時: 令和4年10月21日(金) 1～7校時

対象: 1年生全員

内容:

午前: 「かはくVR」を用いて、国立科学博物館の地球  
館や宇宙館をバーチャル散歩しながら、地球の生  
物や人類の歴史、日本列島の自然や成立過程など  
の視てあるきを実施。その後、インターネットや  
ミライon図書館から貸し出していただいた書籍  
(約150冊)や資料を用いたリサーチ活動を実施。

午後: リサーチ内容をまとめ、タブレットを活用した共  
同編集でポスターを作成し、クラス内発表。

現在、取り組んでいるミニ課題探究や来年度から本格的  
に行う課題探究に向けて、今回の「かはくVR」での取組  
を生かしてほしいと思っています。



## ◆ SS探究II A 課題探究中間発表会

日時: 令和4年10月16日(水) 3・4校時

対象: 2年生数理探究科

目的: 4月から10月に取り組んできた研究成果を発表す  
ることで、プレゼンテーション力を高める。また、  
自身の研究の新たな課題を発見する。

数学・物理・生物・化学・地学 計9つの研究班がポス  
ター発表を行いました。限られた時間の中で研究成果を分  
かりやすくまとめ、発表していました。質問を受ける中で  
各班とも新たな気づきを得ることができました。次は、こ  
の日本語ポスターを英語に直して発表を行うことになって  
います。

